

皆嶋 佳那子（平成22年度採用）北海道教育大学釧路校



所属  
教育委員会事務局 社会教育グループ

主な業務  
社会教育の振興・事業に関すること など

## なぜ安平町職員に？

元々、イベントや各教室などの裏方にまわって、人に楽しんでもらうためのサポート・支援をする仕事に就きたく、そういった活動を通じて地域の活性化に向けた取り組みをしていけたら良いなと考えており、まさに、自治体職員は裏方になって住民の生活をサポートする仕事で、地域の住民のために貢献できる仕事だと思いました。

また、安平町は合併して新しくできた町なので、今後どんどん可能性が広がっていく町であり、新しい人や考えを受け入れてくれる町のイメージがあったので、若い人でも力を発揮して活躍できると思い、安平町職員を受験しました。



## 安平町職員になって良かったことは？

安平町は・・・

人が温かい優しい町です。

空港、JR など交通の便が良い町です。

町の魅力がたくさんある、いい町です。

自然が豊かで、夏も冬も住みやすい町です。

食べ物がおいしい町です。

私は地元出身者ではなく、安平町に知り合いは一人もいませんでしたが、仕事をしていく中で多くの町民の方と出会い、温かく見守っていただいたおかげで、毎日楽しく過ごせています。仕事を頑張った分だけ町民の方は見てくれており、「ありがとう」の言葉に元気づけられます。そして、困った時には力になり私の支えにもなってくれています。

また、先輩職員も心配して気にかけてくれる優しい職員が多く、強い味方になってくれます。

安平町は温かくぬくもりの溢れた町ですよ！

## 社会教育の力で地域を活性化させたい

現在の仕事は、主に社会教育・文化関係団体のサポートや町にある教育施設の管理、高齢者教育、青少年教育、家庭教育など数多くの分野の仕事に携わらせていただいています。

赤ちゃんから高齢者まで幅広く町民と関わることができ、直接町民の声を聞くことのできる仕事です。だからこそ、町民の意見や要望などを逃さず、丁寧に対応していくことが求められますし、たくさんの人と関わることで私自身の成長にも繋がっていると思います。また、私の職場は公務員のイメージとは少し違い、外での活動が多く、意外と体力を必要とする仕事でもあります。

教育委員会の管理している施設の一つとして、「鉄道資料館」があります。鉄道のまちとして栄えた文化・歴史を子ども達に伝承するための施設で、貴重な品を数多く展示しているため、道外からも多くの方が来館されます。見学の対応をした際、感動してくれた来館者の方から、お礼の手紙をいただいたことがあり、とても嬉しかったのを覚えています。笑顔で丁寧に対応することは、誠意も伝わり、さらに安平町の印象を良く持ってもらうことができる、町のPRに繋がることだと実感しました。

まだまだ、2年目で役に立てることも少ないですが、人との繋がりを大事にし、社会教育の力で町をイキイキとさせて、町民の笑顔溢れるまちづくりに貢献できるよう努めていきたいと思っています。



## 安平町を志望する方へのメッセージ

まず、安平町をたくさん知って、この町の良いところを一つでも多く見つけてほしいです。そして、あなたの強み、「これだけは！」と自信を持って言えるものを「売り」にしてください。それがそのまま、安平町の力になるはずです。

現在の就職活動は、大変な状況であり、数多くの企業や公務員試験を受験している人がほとんどかもしれません。私自身も、就職活動では何十もの企業や自治体を受験しては落ちを繰り返し、苦労をした末、何とか安平町に採用となりました。今、同じように苦労している方がいましたら、その経験は決して無駄ではなく、必ず安平町で役立ちます。つらい経験も『価値観が広がった』と前向きに捉えて、今の状況を楽しめる方をお待ちしております。

安平町に一人でも多くの方が興味を持ち、より良いまちづくりを目指したいとの強い想いのある方と、一緒に働けることを楽しみにしています！